



価格より価値で勝負する人々 日本カタクナ道場



タケヒロ君 和歌山にて蚊取り線香について学ぶ

蚊取り線香道場 in 和歌山



日本には商品の価格より、価値を大切に物づくりをしている人がいます。

便利になった世の中で楽をせず古くから続く材料や技法を頑なに守ることが当たり前だと考えている人がいます。

このように頑なに物づくりをしている人をタケヒロ産業は敬意を表して「カタクナ職人」と呼ぶこととしました。タケヒロ産業は「カタクナ職人」が製造する製品や材料の販売促進をサポートすることで、後世に職人技術を残す手伝いをしていきます。素晴らしい物は作り手が残すのではなく、製品を使い、その良さを分かってくれる人が増えることで残っていくのだと考えています。カタクナ道場をきっかけに一人でも多くの方がこだわりの製品や材料に興味を持っていただければ幸いです。



第3回カタクナ道場は和歌山県海南市にて蚊取り線香について「カタクナ職人」に憧れるタケヒロ君と学んできました。基本的に野外で仕事をする造園職人にとって蚊対策は実は重要です。たかが蚊だと思える人も多いでしょうが、日本人は常に蚊と戦ってきた歴史があるのです。平安時代の歌人や随筆家の文章の中にも蚊の悪口が書かれているくらいです。平安時代はヨモギの葉や杉、松などの青葉を火でくべて煙で蚊を追い払う蚊遣火（かやりび）と呼ばれる方法で蚊と戦っていました。その方法は蚊取り線香が登場する大正初期まで続くのです。それまでの日本には殺虫という退治方法がなかったのです。明治にアメリカから殺虫効果のある植物「除虫菊」の種が輸入されると、試行錯誤の結果、現在の蚊取り線香の原型が生まれたのです。蚊取り線香の誕生によって日本人は蚊に悩まされることなく安心して寝られるようになったのです。現在では当たり前になっている蚊取り線香のことを製造する職人さんから聞いてきました。

Q1. 蚊取り線香ってどうやって作るのですか？



まずは蚊取り線香の原料を調合してから、丁寧に混ぜ合わせていきます。そうすると粘土のような状態になりますので、それをシート状にしておき、蚊取り線香専用の型抜き機械で渦巻き状にカットしていきます。



それにしても蚊取り線香専用の機械は年季入っていますね。



渦巻き状の蚊取り線香が出来た当時から使っていますから古い機械ですね。職人がメンテナンスしながら大切に使っています。



蚊取り線香の形になれば完成なんですか？

ここから乾燥の作業があります。



現在は24時間稼働する乾燥室に入れて乾燥させますが、この装置がない頃は工場の2階に並べて自然乾燥させていました。その為に建物全体がスリット構造になっていまして、乾燥作業の時には壁板一枚一枚が持ち上がり建物内の空気が抜けるように作られています。外から建物を見ると分かりますよ。



本当ですね。工場内の天井が低いのに建物自体に高さがあるのも理由があったのですね。建物自体にも趣があっていいですね。



冬は寒いですけどね(笑)

乾燥が終わると製品を箱詰めして商品として流通していくのです。



機械で原料を混ぜ合わせます



シート状にして型抜き機械へ



うずまき状にカットします

Q2. 天然素材の蚊取り線香と化学薬品の蚊取り線香は何が違うのですか？



自分でも天然素材の蚊取り線香を使うのですが、一度使うと化学薬品の蚊取り線香は使いたくなくなりますね。煙がマイルドです。長時間作業する人には天然素材がおすすめです。とは言え、弊社も経営上、化学薬品で作った蚊取り線香も製造しております。天然素材の蚊取り線香はどうしても材料費が高くなってしまいますので、高額商品になります。素材に対するこだわりも大切ですけども、こだわりすぎると商売にならないので自問自答の連続ではあります。



正直言うと、蚊取り線香にこだわりはありませんでした。煙を吸い込むと頭や喉が痛くなるのが当たり前だと思って作業してきました。なるべく煙を吸わないように心がけていたのですが、蚊取り線香の素材が変わるなら作業効率もあがりますね。



そうですね。用途によっては天然素材の蚊取り線香の方が良いこともありますね。最近では愛犬用の蚊取り線香で天然素材の蚊取り線香を使っていますね。人間よりも嗅覚が鋭いので刺激がよりマイルドな製品を好んで使ってもらっています。自然志向の人が増えているので、一度使ってもらおうと長く愛用してもらえるようになります。



なるほど、使ってもらえれば好きになるのでしょうか、消費者の方々は天然素材の蚊取り線香の存在を知らないですからね。



そうです。知っていただく努力が必要ですね。



Q3. なぜ一度途絶えた天然素材の蚊取り線香の製造を復活させたのですか？



出来たばかりの蚊取り線香



十分に乾燥させます



箱詰めして製品となります



実は消費者からの問い合わせが多くあったからです。弊社も昭和の半ばから化学薬品を使った蚊取り線香の製造にシフトしてしまって、除虫菊を使った蚊取り線香の生産はしてなかったのです。昔使ってくださっていたお客様から、その当時の蚊取り線香の香りが忘れられないなどの声を聞いて、試験的に作ってみようかという話になったのです。



簡単に作れたのですか？

一度途絶えた物を復活させるのは本当に大変でした。もう既に日本で安定的に除虫菊を手に入れる場所がありませんでした。海外商社に除虫菊を輸入できる国を探してもらうことから始めました。当然ながら質の良い物でなければ意味がありませんので、探すだけで時間がかかりました。復活当初はアフリカから輸入していたのですよ。



アフリカですか！そこまでくると情熱ですね。



作って良かったですよ。少し高額なので今までの商圏とは違う場所にはなりますが、ファンが増えてきています。喜んでくれる方々の声が会社にも届くようになって、自分たちも励まされています。



Q4. 野外作業にぴったりの蚊取り線香があるって聞いたのですが？



森林香のことですね。50年くらい前に、とある森林組合さんから山仕事で使う強力な除虫の製品を作ってくれないかと依頼がありまして開発した商品なのです。



僕の親方も使っていますけど、全く蚊が近づいて来ないですね。先日、竹藪での仕事の時は本当に役立ちました。



赤い防虫線香のパワー森林香を使うともっと凄いですよ。



獣避けの商品もあると聞いたのですけど。



ありますよ。獣よけ線香という商品も開発しました。獣が嫌がる唐辛子の成分を線香に練り込んであります。ただ蚊取り線香の成分はありませんので併用してもらわないといけませんけどもね。



以前カタクナ道場でお話を聞かせていただいた黒竹の職人さんがシカの獣害被害に悩んでいましたので、早速紹介しなくちゃいけないですね。それにしても、消費者の声を聞いて新しい製品を開発しつづける精神は間違いなく「カタクナ製品」を作るにふさわしいです。今回も勉強になりました。



開発初期の蚊取り線香





タケヒロ産業が自信をもっておすすめする

カタクナ製品

パワー森林香シリーズ

くらべてください。煙の量が違います！

強力防虫



パワー森林香 赤函



獣害対策



パワー森林香 獣よけ線香



屋外作業に最適



パワー森林香専用携帯防虫器

お得なセット



パワー森林香 & 携帯防虫器



造園緑化総合資材

株式会社タケヒロ産業

愛知県額田郡幸田町坂崎東鳴沢 15-1

Tel: 0564-63-1212

<http://www.e-takehiro.co.jp>

